

2025年6月26日

各 位

上場会社名	株式会社AIRMAN (URL https://www.airman.co.jp/)
代表者	代表取締役社長 佐藤 豪一 (コード番号:6364 東証プライム)
問合せ先責任者	執行役員管理本部長 笠輪 信彦 (TEL 0256-93-5571)

完全子会社(イーエヌシステム株式会社)の 吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ

当社は、2025年6月26日開催の取締役会において、2026年4月1日を効力発生日として、当社完全子会社であるイーエヌシステム株式会社(以下「イーエヌシステム」といいます。)を吸収合併(以下「本合併」といいます。)することを決議いたしましたので、お知らせいたします。本合併は、完全子会社の吸収合併であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しています。

記

1. 合併の目的

イーエヌシステムは当社の完全子会社であり、新潟県燕市を拠点として、主に高所作業車の製造、販売を主体として事業を行ってきました。この度、より一層の顧客サービスの向上ならびに経営効率の改善を図ることを目的とし、当社を存続会社として吸収合併することといたしました。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

本合併の実施に係る取締役会決議日：2025年6月26日

合併契約取締役会決議日：2025年11月25日(予定)

合併契約締結日：2025年11月25日(予定)

合併効力発生日：2026年4月1日

なお、本合併は、当社においては会社法第796条第2項に規定する簡易合併であり、イーエヌシステムにおいては同法784条第1項に規定する略式合併であるため、それぞれ株主総会は開催いたしません。

(2) 合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、イーエヌシステムは解散いたします。

(3) 合併に係る割当ての内容

当社はイーエヌシステムの発行済株式の全部を所有しているため、合併に際して新株式の発行および金銭等の交付は行いません。

(4) 合併に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 合併当事会社の概要

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
(1)商号	株式会社A I R M A N	イーエヌシステム株式会社
(2)所在地	新潟県燕市下粟生津 3074	新潟県燕市下粟生津 3013 番地 1
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 佐藤 豪一	代表取締役社長 中山 渉
(4)事業内容	エンジンコンプレッサ、モータコンプレッサ、エンジン発電機、高所作業車、ミニバックホーの製造・販売	高所作業車の製造・販売
(5)資本金	3,416,544 千円	10,000 千円
(6)設立年月日	1938 年 5 月 15 日	1983 年 7 月 8 日
(7)発行済株式数	30,165,418 株	200 株
(8)決算期	3 月 31 日	12 月 31 日
(9)大株主及び持株比率 (2025 年 3 月 31 日現在)	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) 8.984% バイオグリーン有限公司 8.101% GOLDMAN, SACHS & CO. REG 7.383% 北越工業株式会社 ※1 6.575% 千代田産業株式会社 5.794% 佐藤美武 4.789% 北越工業持株会 ※2 3.458% CITCO TRUSTEES (CAYMAN) LIMITED SOLELY IN ITS CAPACITY AS TRUSTEE OF THE VPL1 TRUST 3.315% 株式会社みずほ銀行 3.092% 株式会社第四北越銀行 3.092%	株式会社A I R M A N 100%
(10)直前事業年度の財政状態及び経営成績		
	(連結・日本会計基準)	(単体・日本会計基準)
決算期	2025 年 3 月期	2024 年 12 月期
純資産	41,040 百万円	5,376 百万円
総資産	64,204 百万円	6,405 百万円
1 株当たり純資産	1,486.10 円	26,881,466.94 円
売上高	54,827 百万円	9,701 百万円
営業利益	6,918 百万円	366 百万円
経常利益	6,888 百万円	369 百万円
当期純利益	4,812 百万円	235 百万円
1 株当たり当期純利益	173.80 円	1,176,571.02 円

※1 2025 年 4 月 1 日付で北越工業株式会社から株式会社A I R M A Nへ商号を変更いたしました。

※2 2025 年 4 月 1 日付の商号変更に伴い、北越工業持株会の名称をA I R M A N持株会に変更しております。

4. 合併後の状況

本合併による当社の商号、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金および決算期についての変更はありません。

5. 当期以降の業績に与える影響

本合併が当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

以 上